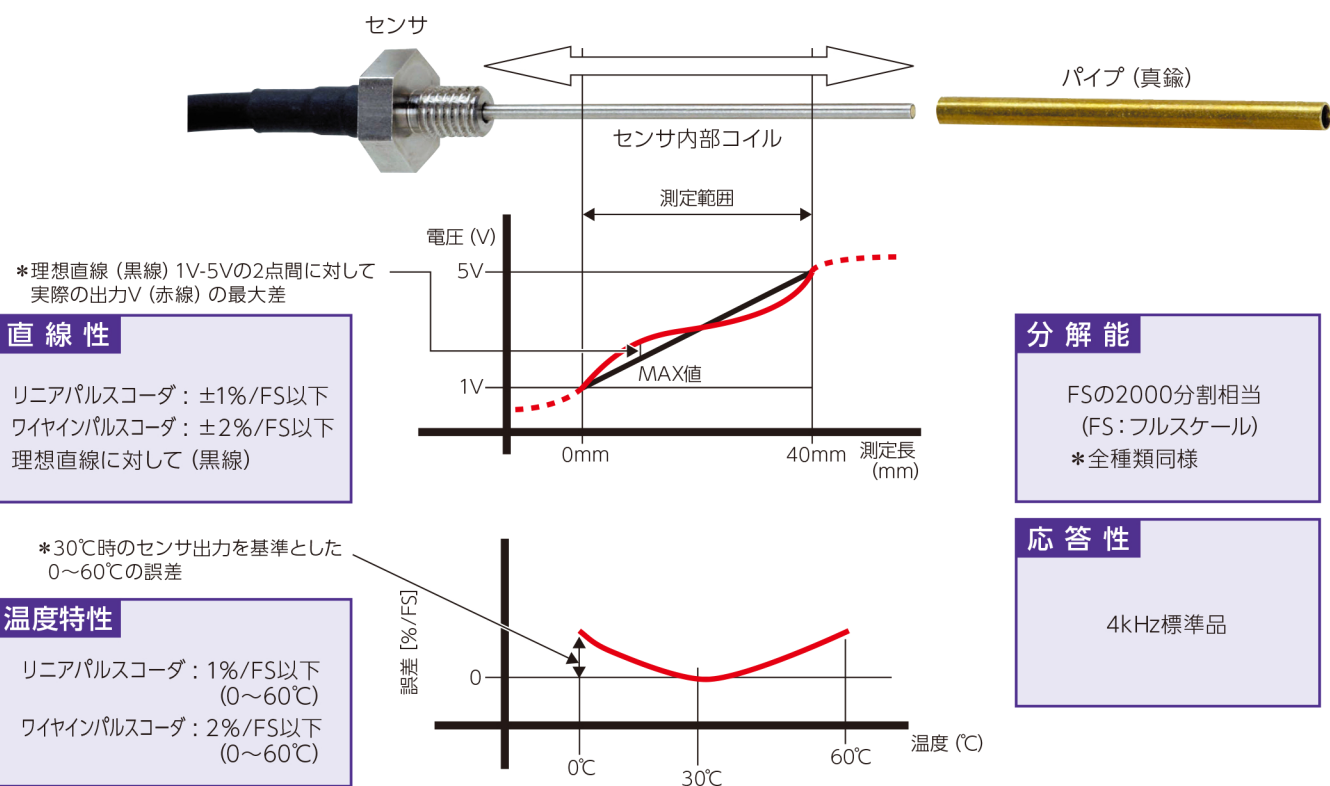
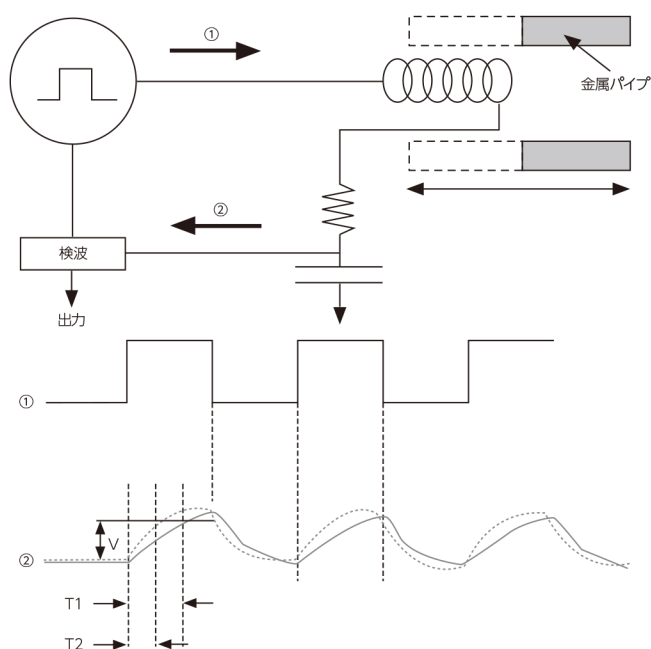


リニアパルスコーダ 概略説明



原理説明



- コイルにパルス電圧を印加すると(①)、コイルのインダクタンスにより、コンデンサ部の電圧波形(②)がなまります。
- コイルの外側で金属パイプ(真鍮、アルミ)が変位すると、渦電流の影響で波形の勾配が変化します(②点線)。
- 点線の波形は、金属パイプが挿入された状態、実線の波形は、抜けた状態のときです。
- その波形が、しきい値(V)まで立ち上がる時間 $T1$ (金属パイプが抜けた状態)、及び $T2$ (金属パイプが挿入された状態)を検出することで、センサの出力を得ます。